

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、
異業種交流活動を通して、
持続可能な地域経済圏をつくり、
夢と希望に満ちあふれた、
元気な地域社会を目指します。



9月号／2020年9月1日発行

三つの目的

- 一つ 元気な会社をつくろう
- 二つ 元気な人財をつくろう
- 三つ 元気な経済圏をつくろう

2020年度いわき経済同友会 基本・活動方針

代表幹事 小野 賢司



世界は米中摩擦、イギリスのEU離脱、イランを中心とする中東問題、北朝鮮ミサイル問題、アメリカ大統領選挙など問題が山積し、こんどんとしておりました。

日本においても、デフレから今なお脱却できず、そんな中での消費増税、医療費、年金問題、少子高齢化問題など予断を許さない状況にあります。

この状況の中、新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、パンデミックを引き起こし、ロックダウンなどにより、人、物の流れが止まり、世界経済にも大きな影響を与えております。

日本も消費増税後のGDPが大きく落ち込んだところに今回の新型コロナ感染症が起き、深刻な状況となっております。この状況を踏まえ、我々いわき経済同友会は新型コロナウイルス感染症終息後を見据え、今後の新しい生活様式に沿ったまちづくり、社会の変化に適応した企業づくり・人財づくりを目指してまいりたいと思っております。

※新型コロナウイルス感染症の拡大によりインバウンドをはじめ、他地域からの交流人口の流入が当分の間、見込めない事から当面下記のテーマに力を入

れ、いわき経済同友会の理念・目的を旗印に、元気な地域社会づくり、世界で一番住みやすいいわき市づくりに取り組んでまいります。

●大都市一極集中より地方へ。

首都圏に近いいわき市にチャンス！

新型コロナ感染症拡大により密な社会の大都市一極集中から、疎な社会の地方都市への流れがあり、地方都市の価値役割が今後上がることが予想される。

このことを踏まえて新しいまちづくりを考える。

●いわきのIT・デジタル社会を牽引しよう！

今後、いわき市を勝ち残れる地方都市にするために、IT、デジタル技術を地域社会・中小企業にも積極的に取り入れ、劇的な変化に対応しうる社会を目指す。

●多拠点居住という新しいライフスタイルの定着を推進しよう！

IT技術、インフラの急速な発達や感染リスクの低減が求められる事により、首都圏に近く自然豊かな

いわき市は、今後予想される多拠点居住というライフスタイルの変化に対応できる魅力的な都市である。この立地をPRし、多拠点居住の推進を図る。

●循環型経済の構築を目指そう！

新型コロナ感染症拡大の影響により、他地域からの交流人口の流入が当分の間見込めない事から、域内にお金・仕事を回す循環経済の構築を図りながら、いわきの経済活性化のために地域振興策の創出をはかる。

●低炭素社会を実現しよう！

二酸化炭素排出に伴う地球温暖化により、年々大きな異常気象が世界規模で起こっています。いわきでも昨年の台風19号による豪雨被害により、地域に甚大な被害を被ったことは記憶に新しいところでございます。

※3～6月例会は新型コロナウイルス感染拡大予防の為中止

7月例会

7月20日(月) 会場 建設会館5F

演題 「いわき経済 同友会の変遷と思い」

講師 いわき経済同友会 里見 潤 常任幹事



◆誕生日プレゼント

アンスリウムが贈られました



3月から7月までの誕生月の方々

そこで、再生可能エネルギーや水素、バッテリーなどの新しいクリーンなエネルギー社会の実現を応援します。

●スポーツによるまちづくりを応援しよう！

コロナウイルス感染症により東京オリンピックをはじめ、あらゆるスポーツの祭典が中止を余儀なくされております。

今後、感染終息が見えてきた時にはには、スポーツ振興を推進・応援してまいります。

●今こそ！いわき経済同友会一致団結！

いわき経済同友会会員間の異業種の情報を活用してこの難局を乗り越え、次代に適応した強い企業、新しい地域社会を創ろう！

小野新代表幹事のいわき市に対して提出した、緊急提言書の内容の再確認を行った。『コロナ禍及び災害において、いわき経済同友会としての役割』についてを議論する例会となった。

いわき経済同友会の役割の再確認と小野新代表幹事の今後の方向性とアフターコロナ後の考え方及びZoomを利用したweb会議の受発信を試す機会になったが、やはり課題も残った。
実施事業内容

1. いわき経済同友会・役職経験者による「いわき経済 同友会の変遷と思い」話して頂く。

講師：里見 潤 常任幹事

2. ディスカッション

小野新代表幹事と役職経験者の方との意見交換

※トークセッションメンバー

いわき経済同友会代表幹事 小野 賢司

いわき経済同友会常任幹事 里見 潤

いわき経済同友会第1グループ長 佐久間一枝

北都オーディオ（株）船生 秀文

※セッションテーマ 1) につきましては小野代表挨拶時

いわき市に対する緊急提言書要望書に対して

1台風被害とウイルス対策の現状について

2 「withコロナ」コロナ以降に想定される急激な社会変化への対応について

3 「withコロナ」大都市集中から地方都市への移行について

4 災害や感染症と共生せざるを得ない状況下でいわき経済同友会が果たすべき役割とは、

3質疑応答 事前(FAX・メールによる)、Zoomチャットにて受付を行った。

いわき経済同友会の発足から今までの流れと、今後、考えていかなければいけない事やコロナ禍及び災害についていわき経済同友会としての今後の活動や役割とは、何かを感じてもらえたのでは、ないかと思いました。本例会で、答えを無理に答えを求めるのではなく、参加者の皆さんに、今後のあり方や問題定義出来た例会になったのではないかと。

8月通常例会

8月24日(月) 会場 新つた

演題 「フラのまち宣言! 賑わい再生への挑戦」
講師 じょうばん街工房21副会長 小泉 智勇 氏

まず私共「じょうばん街工房21」とは、いわき市の中で、いわき湯本温泉郷を抱える常磐地区を中心に地域づくりに取り組む団体です。持続可能なぎわいを目的としています。本日は皆さんよろしくお願ひします。

○湯の華会（いわき湯本温泉の女将と若女将の会）

東日本大震災の影響により観光客数が激減、その後思うように回復しない中、「このままでは、といわき湯本温泉の未来を思い自ら勉強し、意見を交わし誕生しました」

◆誕生日プレゼント

ポトスが贈られました



誕生日は、写真左から新妻弘道さん（8月14日生）、小野代表幹事、高崎鉄也さん（8月9日生）です。

○「フラのまち宣言」2015年7月

温泉の持つ「和」の文化と、スパリゾートハワイアンズに代表される「フラ」の文化を融合し、新たな文化を創造する「まちづくり」を行うことで、訪れるすべての皆様に元気と笑顔を届けていくと言う宣言。

「フラ女将」誕生「フラのまちオンステージ」開催

「太平桜酒造純米酒 絆」の制作

オリジナルレトルトカレーの発売

今日に至るイベントの開催等活動の紹介がありました。



9月通常例会

9月14日(月) 会場 関伽井嶽薬師常福寺

演題 「いわきとともに千二百余年 未来をひらくお寺の在り方」
講師 関伽井嶽薬師常福寺 住職 上野 宅正 様

歴史伝統文化に触れる機会を設け、会員が少しでも多くのいわきの魅力を実感していただき、歴史を学ぶ重要性を理解してもらう場とする。さらに、寺院は葬祭や布教の場であるだけでなく、地域における教育や福祉、文化の拠点として多くの役割を担ってきた。寺院の新たな取り組み、新たな地域との結びつきを考える住職の講演から、地域活性化の手がかりを得る場となりました。

講演内容

(1) 常福寺について

宗旨、縁起、歴史、境内、祭祀など

(2) 時代の変化にどのように対応していくか地域コミュ

◆誕生日プレゼント

カランコエが贈られました



誕生日は、写真左から田村慎太郎さん（9月26日生）、小野代表幹事、小松ひと美さん（9月7日生）です。

ニティの核としての在り方

(3) 地域活性化、社会貢献について企業向け研修など、常福寺の新たな取り組みを紹介

2. 質疑応答



7・8月グループ会報告

第1グループ会

■日 時 7月27日(月曜日)
■場 所 建設会館 3F

テーマ：新型コロナウィルス感染対応支援セミナー

PART1

講 師：三井住友海上火災保険株式会社いわき支社長
中山壮士郎 氏

三井住友海上経営サポートセンターによる「ビジネスニュース」258～279号の解説とBCMニュース＜新型コロナウィルス情報＞を活用したアフターコロナ社会の構築についての説明があった。

社員の安全・健康に配慮した企業文化の醸成 BCP、BCM構築の方向性を検討していく必要性を認識した。



第2グループ会

■日 時 8月26日(水曜日)
■場 所 旬菜ダイニングなかなか

- ①小野代表より挨拶
- ②7月例会の振り返りと反省
- ③コロナ禍での参加者の皆さんの状況発表
- ④次月グループ会の内容についての確認と意見
- ⑤ヘルシーワン（遠藤さん）より、クラウドファンディングについての状況と説明

小野代表に参加頂くと共に、大変な状況でも前向きな話を頂く。

7月例会の出席率ももちろんですが、ZOOM等を使った場合、もう少しシステムを覚える、必要性を感じた。

9月グループ会の説明と今後のグループ会の予定

Jヴィレッジ観察時に（なでしこJAPANforSAMURAI JAPAN）同時見学。

ヘルシーワンが行う、「いわきFCクリニックのクラウドファンディング」にて。予定の金額の10分の1程度しか集まっていない。しかしながら、本当に周知していたのか、も含め、熱い論議が行われた。

10月例会開催

10月19日(月)

10月例会は、コロナ禍以降起こるであろう労働市場の構造的な変化を見据え、テレワークをはじめとした遠隔化、非接触化、省人化技術の導入とその実際についてNTT株式会社支部長である渡辺博之氏を講師に迎え、withコロナ時代の前向きなビジネスの変革をテーマにご講話いただきます。

会場では検温、消毒等の感染防止対策を徹底して行いますので、どうぞ安心してお越しいただけますよう皆様のご来場をお待ちしております。

講題：「withコロナ時代を生き抜くためのテレワークと求められるビジネスの変革」

講師：NTT株式会社いわき支店支店長 渡辺 博之 氏

会 場 いわき市産業創造館6階会議室

18:35～臨時総会 19:00～講演

FMいわき「いわき経済同友会だより」 【10月予定放送】

- ・10月5日 第4グループ会 坂本 和久 様
- ・10月12日 第4グループ会 吉田 嘉徳 様

◇毎週月曜日17時45分からです。（約5分間）

- ・10月19日 第4グループ会 三浦芳一郎 様
- ・10月26日 第4グループ会 山崎勇一郎 様

※インターネットでも、FMいわきがお聴きできますので、17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。
<http://www.simulradio.jp/>

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館 4F 発 行 いわき経済同友会 安島 浩代表幹事
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211 編 集 情報委員会 委員長 坂本和久
<http://www.seaiwaki.jp> 副委員長／常葉修一・波多野和茂・松尾幸治
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp 四ツ倉隆裕・山中莊士郎